

報道資料

平成24年3月22日（木）

件名 外務・防衛両大臣と市長・山口県知事の面談結果について

本日（22日）、市長と山口県知事が外務・防衛両大臣に面会しましたので、その概要を下記のとおりお知らせします。

記

1 面談年月日
平成24年3月22日（木）

2 時間、場所及び面談者

時間	場所	面談者
17:55～18:10	外務省 (大臣室)	[国関係] 外務大臣 玄葉 光一郎 [県・市関係] 山口県知事 二井 関成 岩国市長 福田 良彦
18:55～19:10	防衛省 (大臣室)	[国関係] 防衛大臣 田中 直紀 [県・市関係] 山口県知事 二井 関成 岩国市長 福田 良彦

3 概要

【確認文書と国への売却について】

- 山口県・岩国市からの照会に対する外務・防衛両大臣名による回答については、両大臣にも面会して確認したが、県・市の意向に沿った内容であった。
(回答文書は別紙のとおり)
- これにより、県・市のおかれている状況は、国においても十分理解され、今後、誠意ある対応をしていただけるものと判断し、それを前提に、現在、売却を留保している愛宕山開発用地の4分の3の区域について、留保を解除し、国に売却する旨伝えた。
- 両大臣からは、知事と市長の御理解と御協力に感謝するとともに、知事と市長の思いを受け止め、今後とも誠意をもって責任ある対応をする旨の発言があった。

【オスプレイの一時駐機について】

- 両大臣から、オスプレイの沖縄への配備スケジュール等の詳細については、現在も米側で検討中であり、日米間で決まったものは何もないという状況であるが、岩国へ配備することはない、また、米側から配備時期や方法について通報があり次第、丁寧に御説明したいとの発言があった。

【安心・安全対策、地域振興策等について】

- 岩国市をはじめ周防大島町、和木町には、再編交付金の充実・延長や、騒音対策等について国の格別の配慮を求める切実な声があることを伝えた。
- 防衛大臣から、安心・安全対策や地域振興策等の地元の御要望については、最大限配慮するとともに、海上自衛隊の残留については、御要望も踏まえ検討したいとの発言があった。

4 市長コメント

愛宕山開発用地の売却留保を解除することを両大臣に伝えた際、同用地の売却後においても、在沖縄海兵隊の岩国移転案が再浮上することも含め、米側からも、また日本政府からも、岩国にとって負担増となるような事態を今後生じさせない。

また、これから先、国との信頼関係が以前にも増して重要になるため、政府におかれては、岩国市と岩国市民の信頼を裏切ることのないよう強く要請した。

なお、防音対策の更なる充実、滑走路の運用時間の短縮、海上自衛隊の残留など、市民の切実な要望について、是非実現できるようお願いした。

担当課	岩国市総合政策部基地政策課	TEL0827-29-5024／Fax0827-21-3572
	岩国市都市建設部拠点整備推進課	TEL0827-29-5164／Fax0827-24-4207